

J Aバンク千葉における地域密着型金融の取組状況（平成 28 年度）

J Aバンク千葉（千葉県下 J Aと農林中央金庫千葉支店）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 28 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（J Aバンク千葉の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク千葉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク千葉は、J A自身の資金を原資とする各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 29 年 3 月末時点の J Aバンク千葉の農業関係貸出(注 1)残高は 19,357 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は 3,620 百万円となっています。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円、件）

営農類型	29 年 3 月末現在	
	件数	金額
穀作	1,425	3,169
野菜・園芸	3,128	6,211
果樹・樹園農業	335	605
工芸作物	25	60
養豚・肉牛・酪農	337	1,436
養鶏・鶏卵	26	99
その他農業（注 2）	1,652	4,581
農業関連団体等（注 3）	22	3,196
合計	6,950	19,357

（注）

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、J Aや全農とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円、件)

種 類	29年3月末現在	
	件数	金 額
プロパー資金 (注1)	5,902	14,305
農業制度資金 (注2)	1,048	5,052
(農業近代化資金)	747	4,082
(その他制度資金) (注3)	22	970
合 計	6,950	19,357

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク千葉の資金を原資として融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク千葉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円、件)

種 類	29年3月末現在	
	件数	金額
日本政策金融公庫資金 (注)	363	3,620
合 計	363	3,620

(注)

JAバンク千葉では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【主要プロパー資金の貸出実績】 (単位：百万円、件)

種 類	平成28年度実行実績	
	件数	金額
JA農機ハウスローン	531	1,337
アグリマイティー資金	502	1,743
合 計	1,033	3,080

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク千葉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内19JAには83名の「担い手金融リーダー」を設置し、活動をサポートしています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク千葉は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク千葉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

種 類	平成28年度 実行件数	平成28年度 実行金額	平成29年3月末 残 高
青年等就農資金等	4	20	62
合 計	4	20	62

(2) 経営不振農業者の経営改善支援

JAバンク千葉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営改善に向けて取り組んでいます。

【農業者の経営改善支援等の取組み実績】 (単位：先)

債務者区分		期初 経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生計 画を策定した先 数 a	Aのうち期末 に債務者区分 がランクアッ プした先数 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかつた先 数 c	事業計画策 定率 = a/A	ランクアッ プ率 = b/A
正常先①		0	0	0	0	0.0%	0.0%
要 注 意 先	うち 其他要注意先②	5	0	0	5	0.0%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	破綻懸念先④	2	1	0	2	50.0%	0.0%
実質破綻先⑤		1	0	0	1	0.0%	0.0%
破綻先⑥		0	0	0	0	0.0%	0.0%
小計(②～⑥の計)		8	1	0	8	12.5%	0.0%
合 計		8	1	0	8	12.5%	0.0%

(注)

・期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成29年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク千葉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

J Aバンク千葉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【負債整理資金の貸出実績】

(単位：百万円)

資金名	平成29年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金(注1)	22
畜産特別資金(注2)	22
合計	44

(注)

- 1 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- 2 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 農業融資への利子助成・利子補給の実施

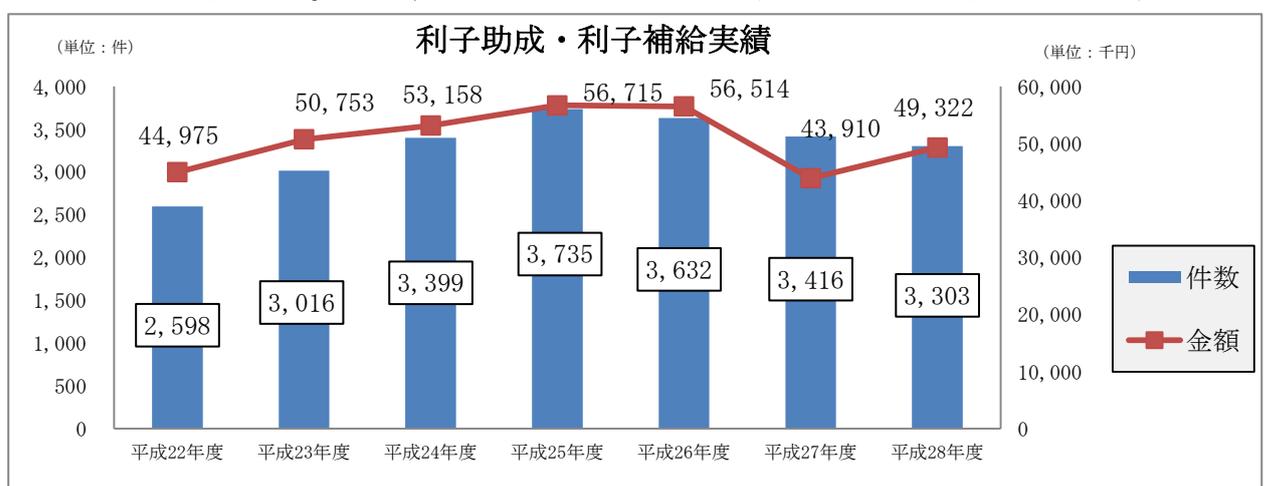
農業者に対するJ A農機ハウスローン、アグリマイティー資金、農業経営改善促進資金、農業近代化資金等の融資について、農業振興等に貢献するために創設されたJ Aバンクアグリ・エコサポート基金や農林中央金庫が、利用者の金利負担軽減を図ることで、その経営をバックアップしています。

平成27年1月以降に実行する資金からは、それまでのJ Aバンク利子助成の仕組みを見直し、農林中央金庫によるJ Aバンク利子補給制度を新たに実施しています。

また、平成28年12月以降、利子補給下限金利を0.5%から0.2%に引き下げており、利用者の負担をさらに軽減しました。

①利子助成・利子補給実施状況

平成28年度は19J Aで3,303件、49百万円の利子助成・利子補給を行いました。



(参考：JAバンク利子助成・利子補給の概要)

	旧制度	見直し後
助成方式	利子助成方式（農業者に個別振込）	利子補給方式（農業者に間接助成）
対象資金	長期：農業近代化資金（認定農業者向け）、JA農機ハウスローン、アグリマイティー資金（JA農機ハウスローンと資金使途が重複するものに限る） 短期：スーパーS資金（認定農業者向け）	左記資金に加え、地域の農業基盤特性に応じた農業生産に直結する要綱資金（地域創設資金）を対象とすることが可能。
助成期間	（近代化）当初5年間 （近代化以外）当初3年間	同左
助成率	最大1%	同左
金額	1百万円以上	同左
下限金利	（近代化）0%（保証料除く） （近代化以外）1%（保証料含む）	（近代化）0%（保証料除く） （近代化以外）0.2%（保証料除く）

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク千葉では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 被災者・生産資材高騰等への支援

JAバンク千葉では、災害等の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位:件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
平成28年8月台風9号被害による災害対策資金の対応	JAいすみ JA長生 JA山武郡市 JA富里市 JAちばみどり	平成28年の台風9号により被害を受けた農業者の経営維持安定に資するため、低利な資金を対応いたしました。	99	129
農業生産資材購入にかかる特別支援対策	JAちばみどり	組合員の農業生産コストの負担軽減を図るため、低利資金を対応しました。	122	176

(2) 地域住民の農業に対する理解促進

JAバンク千葉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布

や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 807 校へ 67,430 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、JAバンク千葉では、健全な青少年の育成に貢献するため、前年度に続き、第 39 回千葉県少年サッカー選手権大会へ協賛しました。

以上